

SJクイズ

[問題編]

Q1

2023年の交通事故死者数を状態別にみると、2022年から増加数が最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ①二輪車乗車中 ②自転車乗用中 ③歩行中

Q2

2023年の車両相互における二輪車乗車中死者数（第1・第2当事者※）を相手当事者別にみると、最も多いのは自動車（四輪車）ですが、その割合は何%でしょう？

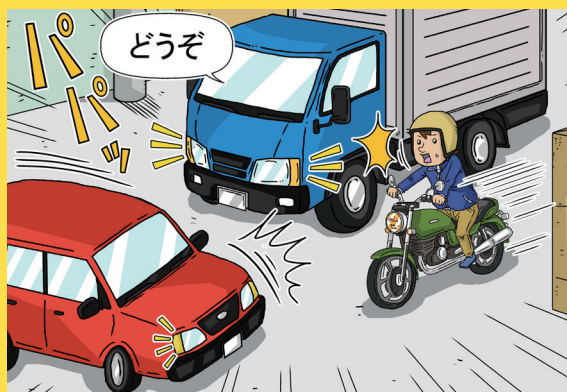
※第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。第2当事者は過失がより軽い、過失が同程度の場合は被害がより大きいほうの当事者。

- ①約87% ②約92% ③約97%

Q3

2023年の車両相互事故による二輪車乗車中死者（第1・第2当事者）を事故類型別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ①出会い頭 ②右折直進（右直事故） ③正面衝突



【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

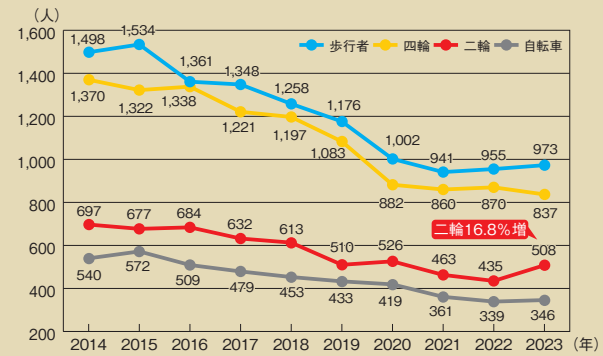
Q1 解答 ①二輪車乗車中

<解説>

近年、二輪車乗車中の交通事故死者数は減少傾向にあったが、2023年は前年比73人（16.8%）増の508人となった。歩行中の死者数は前年比18人（1.9%）増、自動車乗車中は33人（3.8%）減、自転車乗車中は7人（2.1%）増であることから、状態別の増加数は二輪車乗車中が最も多く、増加率も高い。

2023年の交通事故死者数は2,678人と、2015年以来8年ぶりに前年比増となった。二輪車乗車中の事故を防ぐためにも、ライダー自身が正しい乗り方を知り、事故につながらない運転をすることが大切である。

●状態別・交通事故死者数の推移(2014年～2023年)



出典：警察庁資料

Q2 解答 ③約97%

<解説>

2023年の二輪車乗車中の交通事故死者数を事故類型別にみると、車両相互事故が前年比で63人（22.7%）増えた。車両相互事故の相手当事者は自動車で、その割合は96.8%である。

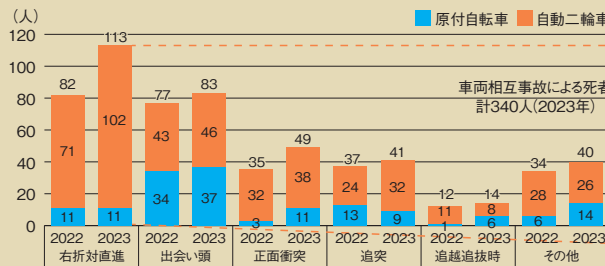
二輪車乗車中の死者数を減らすためには、ライダーが注意するだけでなく、四輪車のドライバーの協力が必要不可欠といえるだろう。ドライバーは二輪車の特性を理解し、道路上で二輪車の存在を意識して運転してほしい。

Q3 解答 ②右折直進(右直事故)

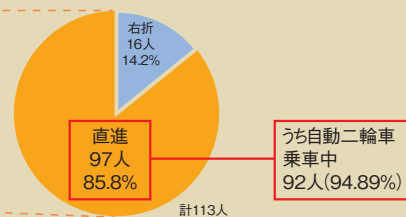
<解説>

2023年の車両相互事故による二輪車乗車中の死者数（340人）を事故類型別にみると、最も多いのは右直事故で、前年比31人（38.0%）増の113人となっている。このうち94.8%は二輪車側が直進のケースだった。二輪車は前を走る車両に隠れ、対向右折車に認識をされていない可能性がある。そのため、ライダーは交差点を通過する際、右折待ちをしている車両がいたら、その車両が右折を開始することを予測しておく必要がある。また、二輪車は四輪車と比較すると、実際よりも遠くに感じられることがあるため、ドライバーは交差点を右折する際に、直進の二輪車が接近していたら無理な右折は控えてほしい。

●車両相互事故による二輪車乗車中の死者(第1・第2当事者)の事故類型内訳(2022年・2023年)



〈右折対直進事故における二輪車の行動類型〉



出典：警察庁資料

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736